

鈴木の製作奮闘記 [活動報告No.075]

はじめに

4/13～16に銀座で現代カラクリ展をしてきました。

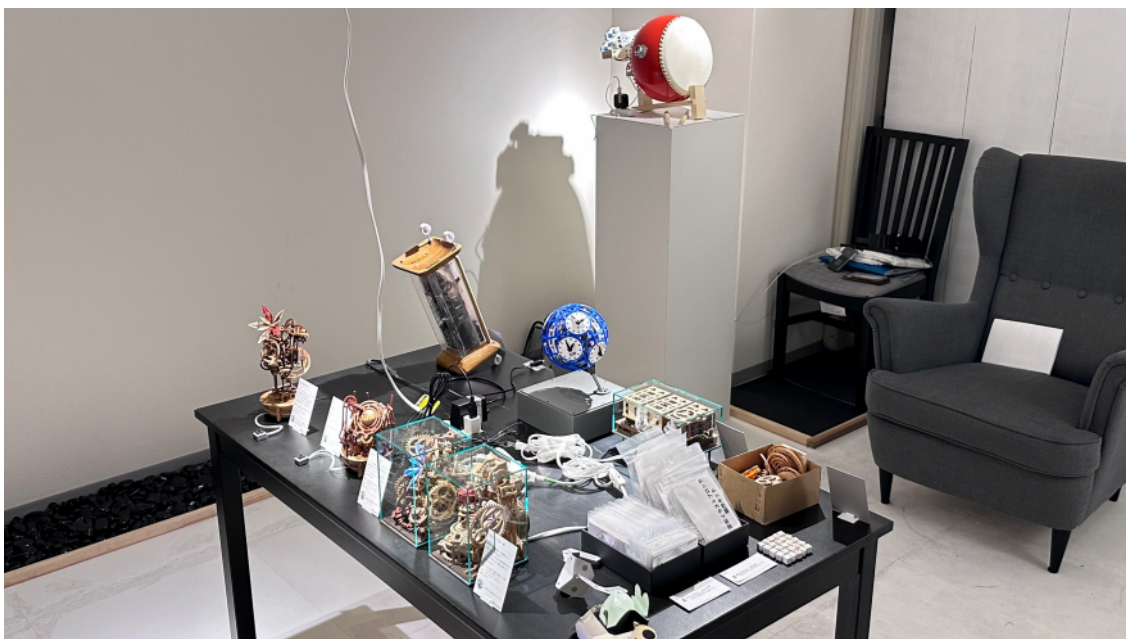


展示はBBコリーさんという作家さんと2人で行いました。

展示スペースは広くはなかったのですが、たくさんの方に来ていただけたようでとても嬉しく思います。

展示の様子

僕自身はあまり写真を撮らなかったのですが、Twitterにアップしていただいた写真を拝借します。



展示の雰囲気です。

いくつかの作品が置けるテーブルと縦長の展示台での展示でした。

作品は10点ほど持参したのですが、スペースの都合で7点となりました。



今回の展示では、過去に製作して不要となった歯車の配布も行いました。

この配布部品の名称は趣がありそうな感じに「作品になれなかった歯車」としました。

この歯車自体は作品ではないのですが、どれも丁寧に製作したものです。持ち帰った方がアクセサリーなどの二次創作に使っていただければと思います。



ファンの方にはお馴染みの感じがあるカラクリウムも赤と青を展示しました。

黄も一応あったのですが、スペースの都合であえなく控えに…。

カラクリウムは日常に置けるようにと花の開閉周期は6分なのですが、こういった展示会では少し遅いかなと感じました。(見ている方がじっと花を見つめていることが多々ありました。)



機械式7セグ時計と球体型世界時計も展示しました。
 予期せぬ故障に対応できないので、流石に期間中動かし続けることはできませんでしたが、最終日の在廊の際には少し動かしたりもしました。



「歯と花のからくり」や「ホームクルス」も展示しましたが、こちらは土台を展示用に交換しました。
 展示用の土台はスイッチを押した時に2分間だけ動作するようになっています。期間中の故障の心配を減らすための対策です。

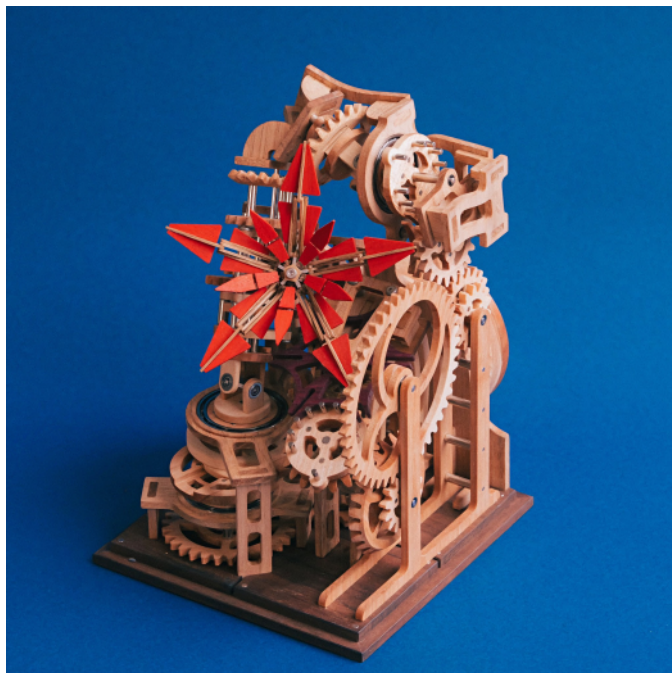
今回の展示はとても有意義だったなと思いました。

次回の展示としては、現段階で狙っているのが、10月に開催されるMakerFaireTokyo2023への出展です。その時までさらに作品を充実されれば良いなと思いました。

作品がCDジャケットに採用されました！

友人のつながりで、ミュージシャンのLow Fuさんの新曲のMVとCDジャケットに作品を使っていたいただきました。

使っていた作品はカラクリウムです。



Low Fu, inui - Links

ultravybe.lnk.to/lowfulinks

MV

<https://www.youtube.com/watch?v=iBCxvXdxQ0>

MVでは赤・青・黄の3作品を使っていたいております。

とても素敵な曲なので是非とも聴いてください！

ミニッツリピーターを作りました。

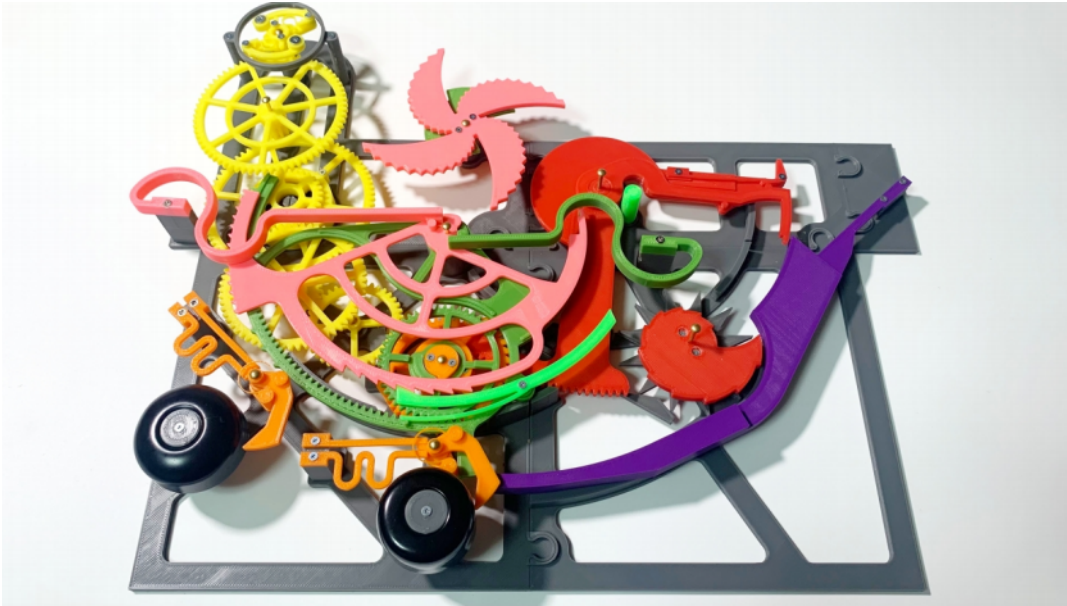
ミニッツリピーターとは腕時計における三大複雑機構の1つで、時刻を音を使って知らせる機構です。

夜の暗い場所でも時間を知ることができるので、発明当時は重宝された機構です。

それで、そのミニッツリピーターという機構はものすごい複雑で、動きを目で追って理解するのも大変な機構です。

YouTubeに動画を投稿していると、やはりこういった複雑機構についての動画を見たいという声がかかるので、ミニッツリピーターの仕組みの解説をまとめました。

動画：<https://youtu.be/WKWnCW8skjk>



ミニッツリピーターは、複雑な機構をさらに組み合わせる複雑な機構を成しているような感じがしました。

卓上サイズの機構モデルなので問題なく動かしていますが、実際はこれが腕時計の中に入るわけですからすごいですよね。

僕は1作品製作するのに部品の修正が10~30くらいあるのですが、このリピーターの機構モデルについては部品の修正データが計69になりました。CADのない当時の開発は相当大変だったと思います。

今回の動画を作る上で参考にした資料は以下です。

<http://www.watkinsr.id.au/Repeater.pdf>

時計のコアな資料になってくると日本語の資料はないですね。

このリピーターの資料もgoogleの翻訳を介しながらの読解でした。

以上で終わります。

ありがとうございました。m(_ _)m